英語によるコミュニケーション能力育成業務プロポーザル審査評価基準表

評価項目			審　査　内　容	配点
提案内容	1	申請者の事業方針と事業関連性	・本業務を実施するにあたり、受託業務に対する基本的な考え方及び方針が明確であるか。 ・提案内容のコンセプト、英語指導助手の配置(調整)、業務内容等が業務目的の達成に適しているか。 ・本町の外国語教育の推進理念を十分理解し、より質の高い外国語教育実現のための内容と言えるか。	10
	2	英語教育受託実績	・地方自治体等からの英語指導助手派遣の業務実績(年数、団体数)を有しているか。 ・英語指導助手派遣の業務内容はどうか。	5
	3	申請者の英語教育に関する理解度及び研究体制	・小学校外国語(英語)教育に対する理解を有しているか。 ・学習指導要領に準拠した外国語指導のカリキュラムや指導法、教材等に関する独自の研究を行っているか。 ・保育所、幼稚園での外国語活動カリキュラムについて、十分な研究及び実践を行っているか。	10
	4	外国人英語指導助手の採用及び研修体制	・英語指導助手の採用体制、採用基準及び採用方法が業務の実施に適しているか。 ・英語指導助手の職務に専念する姿勢及び教育に携わる者としての資質を担保できているか。 ・英語指導助手の採用から配置先での業務を行うまで及び業務を開始してからの研修が適切に行われるか。 ・児童等の実態に応じた指導が適切に行えるよう研修がなされているか。 ・学習指導要領を踏まえた研修を行っているか。	15
実施体制等	5	外国人英語指導助手の管理体制	・英語指導助手の勤務状況の把握方法、勤務評価の方法、申請者との連絡体制など労働管理体制は適切か。 ・専任担当者の配置及び役割については、業務遂行上、十分であるか。 ・英語指導助手の服務及び業務に関するトラブルに対しての対応方法は適切か。	10
	6	年間の業務スケジュールを円滑に実施するための体制	・欠員が生じた場合の補充体制、事故や災害等に関する管理体制及び保障体制は適切か。 ・緊急時や業務内容の変更に対し、迅速に対応可能な体制が整備されているか。 ・配置される外国人英語指導助手が各校園所の英語担当と円滑に打合せができ、児童等の実態に応じたカリキュラムを作成できるか。	10
	7	サポート体制とマネジメント体制	・令和９年４月からの３か年、確実に業務を実施するために必要な体制等が整備されているか。 ・英語指導助手の配置スケジュール及び授業実施計画について、各校園所の年間カリキュラムを踏まえた上で、迅速に作成ができるか。 ・契約期間中に各校園所の実情に変更があった場合も、速やかに改訂スケジュールの作成等が可能か。	10
独自提案等	8	外国人英語指導助手の活用提案	・学習指導要領を踏まえた英語指導助手の効果的な活用方法が具体的に示されているか。 ・外国人英語指導助手と児童等の交流活動等について、過去の実践事例を踏まえた提案が可能か。 ・教員向けの研修等を各校園所が希望した場合、どのような内容が実施可能か明示できるか。	10
	9	独自提案	・本町の求める事業内容を実現するに当たり、事業者独自の提案がなされているか。 ・独自の提案及び工夫に客観性・実行性・説得力があるか。	5
コスト性	10	業務コスト	・本町が求める事業内容を行うことはもちろんであるが、その実現可能な体制の中で提示金額が抑えられているか。	15
合　　計				100